

沖縄県商工会連合会の取組

平成30年9月

沖縄商工会連合会 支援課長 比嘉 智

●生産性向上にかかる支援 エキスパート専門家派遣事業

利用者の声

- ◆相談者 語学スクール(サービス業)・従業員数8名
- ◆相談内容
SNS(Facebook・Twitter・LINE・メルマガ等)を活用し、これまで新規顧客獲得に取り組んでいるが、マンネリ化して効果が薄くなっている。効果的なサイトに見直し新規受講者を増やしたい。
- ◆指導を受けた内容
自社のUSP(顧客が自社を選んでくれる明確な理由)構築の重要性についてアドバイスを受けた。 現行の新規受講者や体験レッスン者に自社を知ったきっかけを必ず聞くこと。検索上位表示および検索時に負けないサイト名、検索ワードの盛り込み方、説明文の工夫の仕方について指導を受け、SNS集客は情報発信の頻度に比例することを留意し、内容の強化と情報発信回数の増加に取り組んでいく。併せてSNS集客でやるべき15ポイントのアドバイスを実践し、新規受講者獲得の業務フローを構築し、生産性向上のため改革を早急に取り組みたい。

●生産性向上にかかる事例紹介

- ◆事業名 大和コンクリート工業(株)(うるま市)
代表取締役社長 豊里友彦
従業員数34名 1960年設立

◆生産性向上への取組

2016年から経営トップの方針として、「7時間労働」を導入、基本給は変わらないので、実質的なベースアップとなり、さらに時間通り帰れることで家族と過ごす時間ができて「ワークライフバランス」の推進につながっている。

当初、8時間分の業務を7時間で、できるわけないという社員の声も「多能工化による効率化」と「コミュニケーションの強化」でクリア、前年並みの売上を確保できているため、労働時間を考えると労働生産性を上げたことになる。豊里社長は、従業員が働きやすく生産性の高い職場づくりを目指して、アウトソーシングを取り入れながら、78人いた社員が現在は34人になり、その効率化で得られた利益は、「社員のポケットに入れたい」としている。社員が「この会社で働けて良かった」と思える環境が、社員が本当の意味でお客様のために働くことができ、売上も伸ばすことができる。「7時間労働及び連続休暇制度」を実施し、「品質重視・顧客優先・技術革新」の経営理念の基に日々経営に邁進している。



代表取締役社長 豊里 友彦